



なるほど納得！イチからわかる

ちいき福祉の

ABC

地域の福祉を支える **3**本の矢

得意分野を生かして協力しあい、
みんなの為により良い地域を創る

「地域包括支援センター」

地域包括支援センターは、**介護保険法**に基づき、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるようにサポートする“ワンストップ拠点”をめざして、自治体等が設置する**公的機関**。

保健師や社会福祉士、主任ケアマネジャーが常駐し、全ての地域高齢住民の相談を幅広く受け付けている。

木更津市には5か所のセンターがあり、波岡東地区は「南部地域包括支援センター」の管轄。

「社会福祉協議会」

「社協」は、**社会福祉法**に基づき、都道府県・市町村に設置されている**非営利の民間団体**。

公的機関や自治体などの地域団体との連携を取りながら、公共性のある事業を行っている。

私たち「**地区社協**」は、全ての小・または中学校区に設置されているボランティアの**市民互助組織**。木更津市には15の地区社協があり、市社協の支援を受けながら、それぞれ地域独自の福祉問題と向き合っている。

「民生・児童委員」

民生・児童委員は、**民生委員法・児童福祉法**に基づき、市町村区域に配置されている、地域の推薦で選ばれた**非常勤の公務員**。

低所得世帯・高齢者・障がい者・ひとり親家庭等で問題を抱えている人を見守り、行政の支援へつなげる役を務めている。

波岡東地区の「民生・児童委員」は23名（うち現在欠員3）、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員2名の計25名が配置されている。

R3年度理事会・定期総会 についてのご報告

5月8日（土）に予定されていた第25回定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

総会に先立ち、4月11日（日）に開催された理事会での検討・決定事項は、後日「令和2年度・3年度報告書」にまとめ、評議員の方々にお渡ししました。

理事会には役員12名に加え、理事18名のご参加を頂きました。地区社協の活動へのご理解とご支援に感謝いたします。

コロナ禍でヒトとヒトが繋がりにくい日々ですが、そんな中でも出来る事を積極的に探していきたいと思っております！

皆様の温かい
応援とご協力を
ぜひよろしくお願いいたします。



「社協」をもうすこし掘り下げてみると…

全国社会福祉協議会

千葉県社会福祉協議会

木更津市社会福祉協議会

波岡東地区社会福祉協議会

- ・「社会福祉法人」
- ・行政と緊密な連携を取りながら地域福祉の課題に取り組む。



ここが私たち！

- ・地区住民の互助組織（＝其々の生活上の困りごとをお互いに解決し合う“おたがいさま”の精神に根差した自発的な助け合い組織）
- ・運営役員は、各地区の自治会長や支援団体メンバー、民生委員などがボランティアで務める。
- ・運営財源は、地域住民からの会費、助成金・補助金、寄付金等。
- ・地域の様々な組織や団体と市社協を結ぶ役割を担う。

《独り暮らしの高齢者バスハイク》

昨年中止の「バスハイク」ですが、今年は5月の予定を9月に延期して状況を見ることになりました。



日程・先行

9月1日（水）大久保地区

9月9日（木）八幡台地区

「アロハガーデンたてやま」

コロナの感染状況によっては、残念ながら中止となる可能性もありますが、実施の際は対象の方にお知らせいたします。

「地域を考える会」

について考えてみよう！

参加しているメンバー

- ① “地域福祉の3本の矢”（南部包括支援センター・波岡東地区社協・波岡東地区民生児童委員）
- ② 波岡東地区全ての自治会長・区長
- ③ 八幡台小学校区まちづくり協議会・少年警察ボランティア
- ④ 八幡台公民館・波岡公民館



昨年度は、3つの部会に分かれて、それぞれの角度から課題を探りました。

1 社会資源部会

地域の“社会資源”の把握と掘り起し（社会資源とは、「支援に活用できるヒト、モノ、財源、情報」のこと）



地域の65歳以上の高齢者が利用できるお店・サービスを掲載したマップ作成中。R3年度完成予定。

2 調査部会

どんな支援が必要とされており、誰が困っているのか。又、支援の担い手になってくれる人、等の調査。



地域住民にアンケートを行い、報告書にまとめた。結果を今年度の具体的な活動に繋げていく予定。

3 生活支援部会

必要とされる支援の立ち上げ準備と既存の支援団体の実情調査と支援計画の作成。



「NPOライフサポート波岡」、「波岡WAVE」への聞き取りを行い、協力と支援を再確認した。



令和2年10～12月に



実施した住民アンケート



波岡東地区4885戸に対し行った住民アンケートに、1122戸から回答がありました。ご協力ありがとうございました。みなさまの貴重なご意見は、今後の「お互いさまのまちづくり」に活かしていきます！

アンケート内で、「生活支援にご協力いただける方」に連絡先の記入をお願いしたところ、**128名**もの方から協力のお申し出がありました。この地域には本当に助け合いの精神が息づいていますね！

そこで先日、手を上げて下さった方々対象の講座が開催されましたので、ご紹介します。



木更津市社協主催 **波岡東地区『生活支援担い手養成講座』**

日時 4月24日(土) 10:00～12:00 **場所** 木更津市民総合福祉会館

対象 波岡東地区在住で支え合い活動にご協力いただける方 **定員** 50名



講師に、「千葉県新地域支援事業推進協議会」の國生美南子さんをお迎えし、高齢化社会の中での福祉の現状や国の考え方、必要とされている“生活支援”そして「ちいきサポーター」に求められる心構えや共有理念などについてもお話いただきました。

後半は、すでに地域で活躍中の「NPOライフサポート波岡」（生活支援バス運行）の大竹徹さんと「波岡WAVE」（有償の助け合いネットワーク）の堀切辰也さんより、それぞれの活動の説明がありました。

ボランティア希望者が、ニーズの合う既存の支援団体に登録することで、地域での助け合いをさらに活性化させることができればよいですね。あらためて、沢山のご参加ありがとうございました。